

福島県緊急対策についてのお願い

二本松市新型インフルエンザ等対策本部

福島県の緊急対策として外出自粛の要請が出ております。

「県内における不要不急の外出自粛」

特に午後8時以降の外出自粛の徹底をお願いします。

※ 医療機関への通院、食料、医薬品、生活必需品等の買い出し、必要な職場への出勤、屋外での運動や散歩など生活や健康の維持に必要な場合は除きます。

「緊急事態宣言対象地域を始めとする感染拡大地域との不要不急の往来自粛」

※ 不要不急の往来の例 帰省、旅行等

緊急対策期間 1月13日(水)～2月7日(日)

新型コロナウイルス感染症対策に御協力をお願いします。

感染リスクが高まる「5つの場面」

政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会では、以下のような感染リスクを高めやすい具体的な場面が示されています。
(令和2年10月23日(金)新型コロナウイルス感染症対策分科会)

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話することで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際、車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



家庭内の場面では

- ① 必要に応じてマスク着用
- ② こまめに手指消毒
- ③ 定期的に換気する



- ④ 症状があったら外出せず、**かかりつけ医や受診・相談センター**へ連絡



受診・相談センター
0120-567-747

新型コロナウイルス接触確認アプリ
COCOA Google Play (안드로이드版) App Store (アイフォン版)

